

2019 年度実施概要

学校名

与論町立茶花小学校

採択活動名

ユンヌの海を守りたい

取り組みの概要

(1) はじめに

与論島は周囲をサンゴ礁が囲み、本校もまた校区内に海がある。そのような身近にある海という地域資源を生かして、探究的な「総合的な学習の時間」を展開することはできないかと考え、本校では総合的な学習の時間における探究課題の開発と実践を行ってきた。海洋教育のコンセプトを基に、3年生は海（島の自然）に親しむ、4年生は海（島の自然や人々）を知る、5年生は海（島の自然）を島の人々とともに守る、6年生は海（島のよさ）を発信するというように、段階的に活動テーマを決めて学習を展開している。

(2) 各学年の取組

3年生では、海に親しむ活動を中心に学習を行ってきた。具体的には、実際に海に行きサンゴ礁や生き物に触れたり、生き物の生態について本を使って調べたりした。五感を存分に働かせ海と親しむことで、子供は自然に疑問や課題を見付け、子供の問いから学習を展開することができた。

4年生では、海の漂流物から自分たちにできる3R運動はできないかという課題をもって学びをスタートさせた。拾ったシーグラスやサンゴ、貝殻等を使って造形物を製作したり、それらを販売したりする体験を行った。造形物を作る際には、販売という目的が加わったことで、海の恵みを生かすための趣向を凝らした作品が出来上がった。また、販売戦略を考えたり、原価計算を自分たちで行ったり、商品に関するリーフレットを作成したりすることで、総合的な学習の時間を中心に国語、社会、算数をカリキュラムマネジメントの観点も生かしながら深い学びへと繋げることができた。

5年生では、主に海を守るというコンセプトの下、環境保護の視点で学習を展開した。まずは、海を知るということで既習の学びを整理したり、生態系の中心にいるサンゴの生態について学習したりした。そして、海や環境を保護するための取組として本年度は以下の3つを実践した。それは、環境にやさしい洗剤作り、環境保全のPR、サンゴの養殖体験の3つである。また、学びのなかで、海は全世界の共有物であり、みんなの力で守る必要性に気付いた子供たちは、環境省主催のフォーラムに参加し、学びの成果を発表した。ゲストティーチャーによる講話やグラスボートでのサンゴウォッチングを行ったことで、より課題意識をもって保護活動の取組を意欲的に行う子供の姿が見られた。

6年生では、4年間のまとめとして、これまでの学びや与論島の魅力を発信することを中心に学習活動を展開した。そのために、島民や観光客の想いや願いを実態調査により収集し、それらをもとにアイデアを考えた。今年度の学びの集大成として、「島っ子アイデアコンテスト」にも参加する予定である。

このように、子供たちから出た問いをもとに職員がより良い探究課題を話し合うことで、それぞれの学年が地域と協力し、地域の素材に触れて課題意識をもったり、探究活動をしたりすることができた。当たり前にある海やサンゴ礁のことを深く追究していくことで、これまで以上に海や地域に対する関心や愛着心を抱くことができたのではないかと思う。

活動中の写真



実施単元名 ※実施した単元の数に応じて記載してください

1	ゆんぬのひみつをさがそう
2	ヨロンから世界へ出発だ
3	海からの贈り物
4	海と島の人々
5	ヨロンの海の今を知ろう・守ろう
6	ヨロンのタカラ探し

